

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 今月号の特集は「悪性リンパ腫の画像診断：間違えやすい疾患との鑑別のポイント」です。中枢神経では、“バタフライ状”に脳梁浸潤する腫瘍様病変は膠芽腫、多発性硬化症および悪性リンパ腫に絞込まれるが、MRI 灌流画像で脳血流量（CBV）が高ければ豊富な血管増生を反映した膠芽腫の鑑別に役立つ（豊田圭子論文）。頭頸部では画像のみでの鑑別は難しいが、臨床所見やその他の各種検査と合わせて総合的に診断する（武政尚暉論文）。肺・縦隔では他部位のリンパ腫と同様に、腫瘍内の血管貫通像を認めたり、治療前には石灰化巣を欠く特徴を共通に示すが、若年者に好発したり、壊死や嚢胞変性を伴う頻度が高い点は、他部位のリンパ腫とは異なる（富永理喜論文）。乳腺や肝臓脾でも腫瘍内の血管貫通像や、石灰化に乏しい特徴が共通する（八嶋夕絵論文・青沼宇倫論文）。消化管では、通過障害は伴わずにむしろ内腔は動脈瘤様に拡張する（南條勝哉論文）。腎・泌尿器・生殖器領域でも、内部の均一性や乏血性の造影パターン、強い拡散制限や FDG-PET での強い集積を認めること、周囲の既存構造が保たれることが鑑別点となる（宗近次朗論文）。婦人科領域では、その他の婦人科悪性腫瘍を同時性あるいは異時性に合併することがあり、原発巣進行期と不相応にリンパ節が大きく、累々と腫大している場合や、病変の分布が転移の好発部とは異なる場合は、悪性リンパ腫の合併を考慮する（坪山尚寛論文）。骨軟部では、浸透状ないし虫食状（moth-eaten）の浸潤性骨破壊像や骨膜反応を伴い、治療前の腫瘍内に壊死や出血、石灰化を欠く場合に疑う（大木望論文）。発生部位によらない共通の画像所見のみならず、それぞれの領域に特徴的な事項もあります。熟練の先生方による、一般的な知見の整理をしっかりと吸収してください。

▶ 診療論文では、子宮頸癌術後照射における骨盤リンパ節領域に対するソフトウェアの自動描出機能の使用経験が示されています（山下倫太郎論文）。

▶ 症例論文や「今月の症例」は今回も様々な領域にわたる豊富な寄稿がなされました。ありがたい限りです。子宮腺肉腫（長岡繁論文）、脾癌の肺転移と見まがう nodular lymphoid hyperplasia（長田仁論文）、癒着防止剤併用婦人科手術後所見の CT と超音波との違い（古田寿宏論文）、免疫チェックポイント阻害薬関連肝炎と胆管炎（正木かやの論文）、外傷性肋間肺ヘルニアの保存的改善（早川晶太論文）、冠動脈バイパス術後の横隔膜ヘルニア（初田直駿論文）、腹痛症の孤立性左胃動脈解離（永田徹論文）、食道異物と誤認された飴（東野太樹論文）、腎洞発生の SFT（田村恵梨論文）、CT で膀胱内脂肪を認めた腎部分切除術後乳び尿（岡田康平論文）、空洞形成を伴い緩徐に増大した細気管支腺腫/線毛性粘液結節性乳頭状腫瘍（中条裕一論文）や、胸郭内で気管支浸潤を伴った脱分化型脂肪肉腫（杉原亘論文）といった、とても教育的な症例の数々を追体験できます。

▶ 毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何でも記します。投稿や症例を大切にする『臨床放射線』は特異な編集方針をもつ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てていただければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第 69 巻 第 4 号

2024 年 7 月 10 日発行
隔月（1, 3, 5, 7, 9, 11 月）10 日発行

定価 3,960 円（本体 3,600 円＋税 10%）

年間購読料金
定価 23,760 円（本体 21,600 円＋税 10%）
[年間 6 冊の誌代]
年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。